

各局の自律改革について

各局における自律改革の取組＜状況報告＞（11月1日）

各局自律改革の取組状況

- 9/1 第1回本部会議にて自律改革を開始
- 9/29 第2回本部会議にて各局の取組状況を報告
- 10月～ 各局で政策・施策・事業の自主点検・評価を開始

自律改革のレベルアップ

- 各局が9月に実施した自主点検の結果、報告された取組（320項目）は、事務の効率化・業務改善に係るものが中心
- 一段高い取組として、政策・施策・事業の見直しに向け、政策・施策・事業の自主点検・評価を実施
- 「2020年に向けた実行プラン（仮称）」の政策展開とも連携を図り、更なるレベルアップを推進

今後のスケジュール

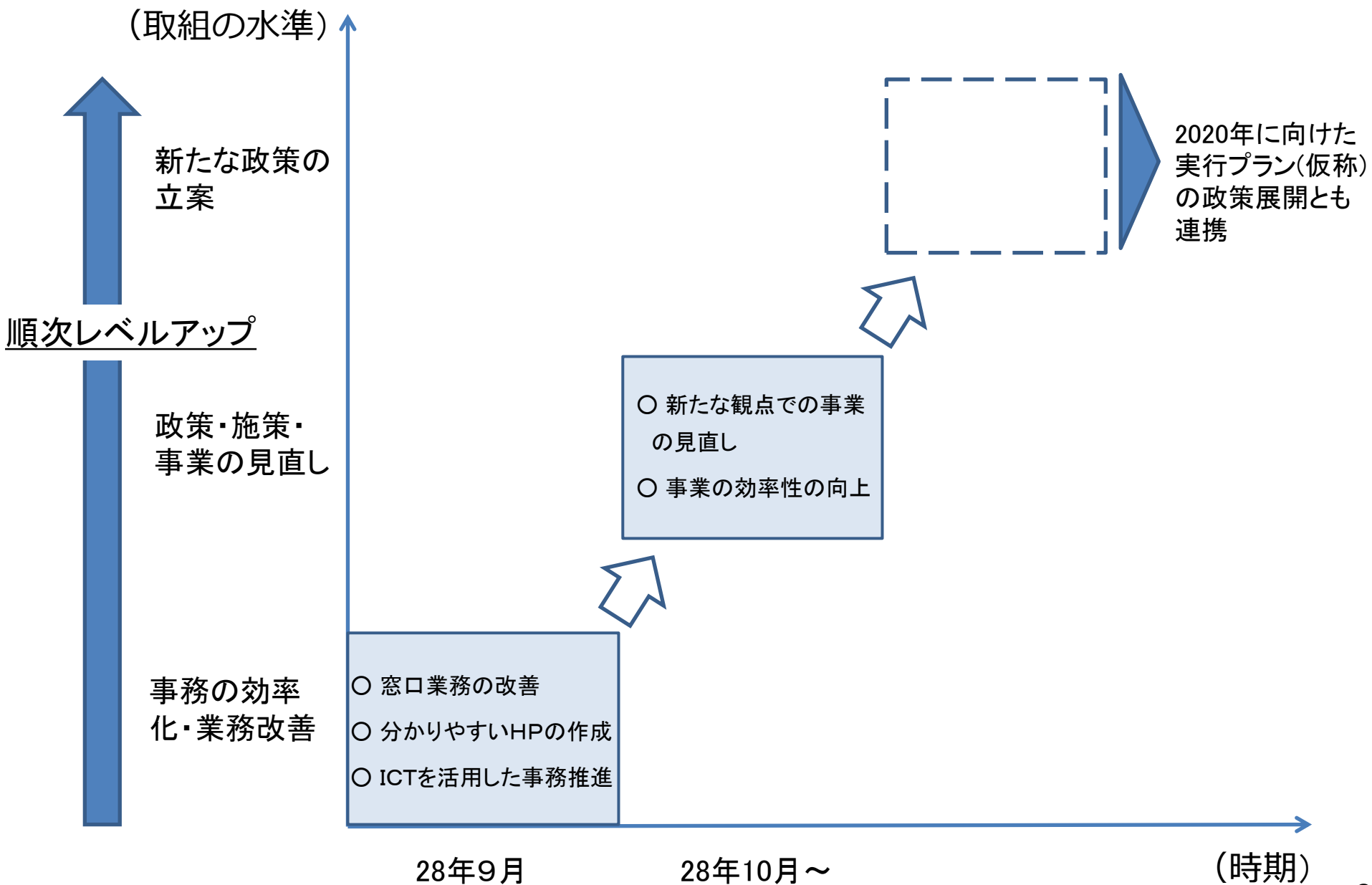
11月中旬
各局が自主点検・
評価を実施

11月下旬
各局との意見交換会
を実施

12月以降
各局から取組状況
を順次報告

4月頃
28年度の取組成果
を報告

政策立案に係る各局の取組のレベルアップ



教育庁における自律改革の取組<状況報告>

教育庁の取組体制

教育庁改革本部

教育庁改革本部

本部長:教育長

構成員:次長、教育監、本庁・事業所各部長

業務改善の推進

業務改善について、各課(校)の取組を把握し、進行管理を行う。

また、全庁対応すべき事項について、若手の意見や都立学校現場の声を反映させながら、検討する。

都立学校の取組

都立学校における自律改革の推進に向けた仕組みを設ける。

また、都立学校の意見が施策形成や業務改善に反映される仕組みを設ける。

教育庁若手職員 PT

若手職員で構成するPTを立ち上げ、若手職員の意見を施策形成や業務改善に反映させる。

都民の声

- 東京都教育モニター
- 学校運営連絡協議会

モニター(公募)に対するアンケート調査等による意見・要望等の聴取
学校運営連絡協議会における学校との意見交換や評価委員会による意見・提案

教育庁における自律改革の取組＜状況報告＞

これまでの経過

9月2日（金）

○自律改革の進め方について検討

9月7日（水）

第1回教育庁改革本部会議

○本庁各部及び事業所に対し、自律改革の取組事項について、検討するよう指示

9月14日（水）及び15日（木）

○本庁各部及び事業所が策定した自律改革の取組事項を基に、教育庁としての自律改革プランを検討

9月28日（水）

第2回教育庁改革本部会議

○教育庁自律改革プランに基づく具体的な取組の進め方、スケジュールを共有

○各部・事業所における具体的な取組を開始するよう指示

10月12日（水）

第3回教育庁改革本部会議

○一課一改善の取組について情報共有

10月21日（金）

○各職場において「接遇」、「事業所における窓口対応」に関する自己点検を実施

教育庁における自律改革の取組<状況報告>

一課一改善

局全体で「一課一改善運動」を実施

各課において、課の課題を分析し、改善すべき取組を検討、教育庁改革本部に報告
主な取組は次のとおり

視 点	内 容
都民対応	○都民対応のスキルアップを図るため職場内研修を実施 ○デジタルサイネージを活用した外国人を含む来館者への案内
情報公開・共有	○教員向け研修の一部を都民へ公開
ペーパーレス化	○プロジェクターやタブレットを利用した会議のペーパーレス化
ライフ・ワーク・バランス	○始業時に管理職に退庁予定時刻を報告 ○退庁時間の「見える」化の実践 ○マイ定時退庁日の設定
事務改善	○若手職員を対象とした課内企画立案・プレゼンテーション研修 ○3カ月単位等の業務スケジュールを作成し、繁忙期における担当者間の応援体制を確立

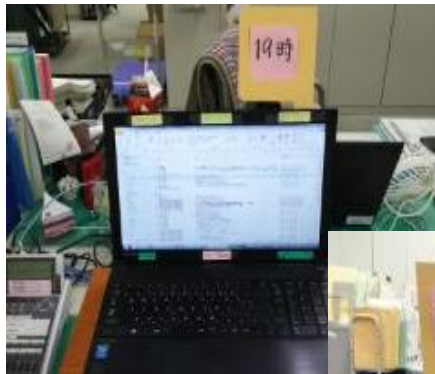
教育庁における自律改革の取組<状況報告>

一課一改善の取組例①

退庁時間の見える化

- ① 毎日出勤後、その日の仕事の進め方を計画し、退庁時間を決めて、「帰る札」をパソコンに掲示
- ② 定時退庁の「青札」以外を掲示する際には、大きな付せんにて退庁時間を記入

- 定 時 退 庁 . . . 青 札
- 20時までの超勤 . . . 黄 札
- 20時を過ぎる超勤 . . . 赤 札



PC正面



PC背面

教育庁における自律改革の取組＜状況報告＞

一課一改善の取組例②

会議のペーパーレス化

学校経営支援センターでは、業者指名選定委員会（年間46回開催）において9台のタブレット端末を試行的に活用し、配付資料をPDF化することにより、紙の削減に向けた取組を始めている。



都立学校の取組

都立学校においては、これまでの「学校経営計画」の取組を活かしつつ、子供たちへ提供する教育の質の向上を目指し、更なる自律改革の取組を推進するため「**一校一改善運動**」の実施について、その取組方法を検討

※「学校経営計画」とは、校長が、学校のビジョンや中期的目標に基づき、学校の自律的な改革を進めるため、各年度における学習指導などの教育活動の目標と、これを達成するための具体的方策や数値目標を定めてまとめたもの。学校経営計画は年度終了後、自己評価し、報告としてまとめ、計画・報告ともにホームページに公表している。

教育庁における自律改革の取組＜状況報告＞

教育庁職員若手PT

- 教育庁各部の若手職員で構成するPTを立ち上げ、**若手職員の意見を施策形成や業務改善に反映させるための手法**について検討する。
- 検討内容を報告書にまとめ、幹部と意見交換をした上で教育庁改革本部に提案する。
- 提案をもとに、局全体及び各部・事業所単位で若手職員の意見を反映させる。

構成員：本庁各部の若手職員（主任・主事）9名

これまでの議論の経過

第1回＜平成28年10月6日＞

日常業務の中での若手職員の意見が施策形成・業務改善等に反映されていると感じるかについて意見交換

例：上司の指示に基づく業務が多く、自分の意見を政策に反映できる機会が少ない
若手職員からの意見を求める上司と、求めない上司とがいる

第2回＜平成28年10月19日＞

日常業務や新たな枠組みにおける若手職員の意見反映の仕組みについて議論

第3回＜平成28年10月26日＞

これまでの議論を整理し、幹部への提案に向けた報告書について検討

教育庁における自律改革の取組<状況報告>

今後の取組

今後進める主な取組事項は以下のとおり

取組事項	これまでの取組状況	今後の取組
都民サービスの向上のため、利用者を対象としたアンケート調査等を実施	教育相談センターにおいて、10月1日から来所相談の利用者を対象としたアンケートを開始した。	アンケート結果の分析を基に、来所相談者への対応の改善等、今後の相談業務のサービス向上を図る。
都民ファーストの視点に立ったホームページの改善	ホームページに掲載した「報道発表資料」等の内容が、一目で分かりやすく伝わるよう、発表内容ごとに分類別のアイコンで表示した。	平成29年度末のホームページの全面リニューアルに向けた準備を進める。
外国人にも配慮した都民サービスの提供	都立中央図書館において、タッチパネルデジタルサイネージの設置に向けた準備を進めている。	年度内にデジタルサイネージを設置し、多言語対応となる館内案内を実施する。